

# 九州大学教育学部 国際入試

## ▼ お問い合わせ先

九州大学教育学部

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1

TEL: 092-642-3105 (貝塚地区事務部教務課学生第二係)

E-mail: kakgakusei2@jimu.kyushu-u.ac.jp

教育学部ホームページ:

<http://www.education.kyushu-u.ac.jp/>

2018年10月から伊都キャンパスへ移転します。  
新しい連絡先は、ホームページでご確認ください。



Kyushu University School of Education  
Entrance Examination (International)



九州大学教育学部では、国際的に活躍できるような人材、とりわけ今日のアジア地域の社会や文化の多様性を理解し、多面的・越境的な視点からグローバル化時代の複雑な教育、心理、発達等の問題の解決に挑む人材の育成を目的とし、従前の私費留学生入試、帰国子女入試を統合し、「国際入試」を開始します。

# 九州大学教育学部 国際入試

Kyushu University School of Education  
Entrance Examination (International)

入学定員 **3名**

平成**31**年**4**月入学者 対象

【願書受付期間】**9月11日(火)～9月21日(金)17時まで**

## 選抜方法

- 第1次選抜(書類審査)……………**11月12日頃 結果発送**  
▼  
第2次選抜(プレゼンテーション及び面接)…**12月1日(土) 実施**

## 概要

国際入試では、国際社会に対する興味や知識、文化的多様性に対する関心、外国語(英語、及び外国語としての日本語)によるコミュニケーション能力、及び様々な現実的状况における柔軟性・協調性等が以下の方法で評価されます。

- ① 大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜により行う。
- ② 第1次選抜：提出された書類(調査書及び各種成績証明書等)の評価により選抜を行う。
- ③ 調査書には教育学部が主催するリサーチ・トライアルの成果を記載することを可とする。
- ④ 第2次選抜：第1次選抜の合格者に対し、プレゼンテーション及びその内容等に関する面接試験の総合評価により選抜を行う。3名の審査員で評価する。
- ⑤ プレゼンテーションでは、試験当日に提示される課題について180分以内に発表する内容をまとめ、4枚のパネルを作成し、そのパネルにより、内容を10分間で発表する。発表は個人別で行い、使用言語は、英語または日本語とする。
- ⑥ 面接試験の時間は、受験生1人につき10分間とする。

## よくある質問

**Q. 国際入試を受けると国際コースの所属になるのでしょうか？**

**A.** 教育学部の全ての入学者は、第2学年より始まる国際コースのカリキュラムを希望できます。第1学年の後期に、国際コースの希望調査及び履修判定(必要な場合は選考)を行います。国際入試により選抜された入学者も、国際コース以外の通常のカリキュラムの履修ができます。

**Q. 国際入試は、日本の高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した生徒でも受験できるのでしょうか？**

**A.** 国際入試の出願資格は、「一般」、「帰国子女」、「私費外国人留学生」となっています。帰国子女、私費外国人留学生以外に、日本の高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した生徒も受験資格が与えられます。

**Q. 国際入試ではなく、私費外国人留学生入試、帰国子女入試を受験することができるのでしょうか？**

**A.** 教育学部において平成30年度入学者選抜まで行われていた私費外国人留学生及び帰国子女入試は、平成31年度入学者選抜から行いません。

# 九州大学教育学部 国際コースについて

教育学部が国際的視野に立った教育学・心理学の教育・研究の拠点として発展を続けるために、とくにアジア地域で活躍できる多面的・越境的視野の豊かな人材の育成を目的としています。

- ① 教育学部の国際コースでは、海外、とくにアジア諸国における教育、心理、発達等の特徴と問題点を文化的多様性の観点から学ぶカリキュラムを履修します。一部の授業は英語を主要言語として行われます。
- ② 海外から教育学部に留学する外国人学生と交流しながら、ともに学びます。
- ③ 海外フィールドワーク、または海外インターンシップに参加して、海外協定校の学生、教員、研究者らと交流しながら学びます。
- ④ 英語による卒業論文を作成するとともに、国際学会等における研究成果の発表を目指します。

## 国際コース<sup>\*</sup>の教育指導体制

第2学年より国際コースのカリキュラムを履修しながら、海外フィールドワーク、または海外インターンシップに参加する準備を進めます。国際コースに在籍していても、コース外の学生と同様、教育学部が提供する多くの授業科目を履修することが可能です。第3学年前期に国際コースを担当する教員の研究室に所属し、教員の指導のもとに国際社会や文化的多様性等を視野に入れた研究課題について調査研究を始め、英語による卒業論文を作成します。在学中の国際学会等における研究成果の発表も支援されます。

※国際入試の合格者のみならず、一般入試(前期)による入学者についても、国際コースのカリキュラムを履修することを希望できます。

**Q. 教育学部のリサーチ・トライアルに参加したことがあります、そのことを調査書に記載してもいいのでしょうか？**

**A.** はい。教育学部は、学部教育内容を知ってもらうために、国内と国外で高大連携活動である、リサーチ・トライアルを開催しています(<http://www.education.kyushu-u.ac.jp/~eep/>)。調査書には教育学部が主催するリサーチ・トライアルの成果を記載することができます。

**Q. 国際コースに留学は必須なのでしょうか？**

**A.** 留学は必須ではありません。留学を希望する場合は、学内外のさまざまな支援を受けることができます。「海外フィールドワーク」、または「海外インターンシップ」を受講して、海外協定校の学生、教員、研究者らと交流しながら学びます。